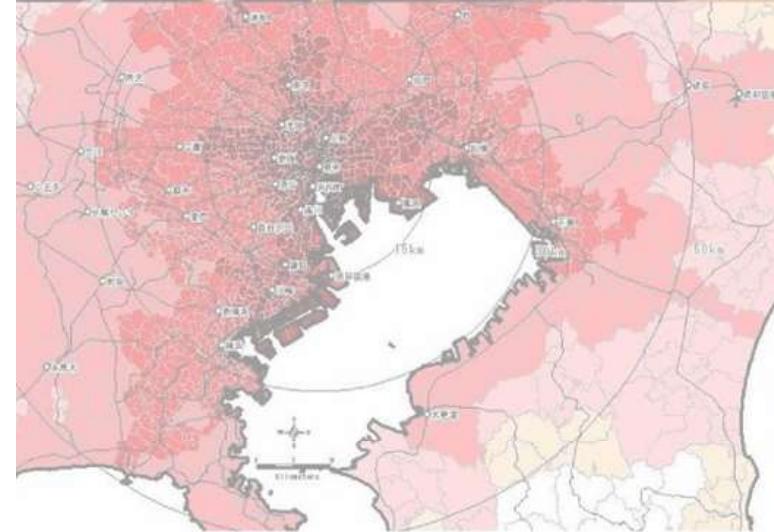


[広 報]



鉄道ホームドクター



鉄道・運輸機構

JRTT

鉄道ホームドクターによる支援

- ・鉄道・運輸機構がこれまでの鉄道建設の経験により培った技術的なノウハウを活かして、鉄道事業者や地域鉄道を支える地方公共団体の皆様が日々の鉄道の運行を通じて抱えるさまざまな問題や疑問について相談を受け、無償でアドバイスやサポートを行っています。

鉄道ホームドクターの流れ

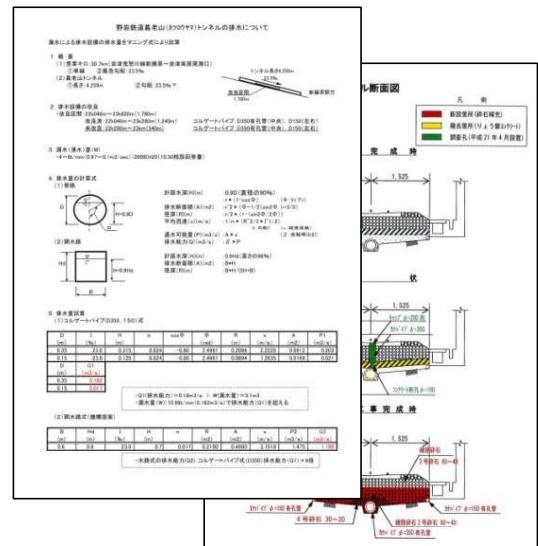
- ・「鉄道施設の老朽化が激しい」「安全な運行を続けるため施設を新しくしたいので補助メニューを知りたい」等の様々な要請に対し鉄道の建設、調査等の知見を持つ関係部署や、地域鉄道に係る助成制度の補助メニュー等の情報を持つ鉄道助成部と協力しながら、建設企画部調査課が窓口となり、技術支援や情報提供を実施しています。
- ・「このようなことは誰に聞けばよいか」「とりあえず相談したいが相談費用を抑えたい」といった状況のときに、気軽に相談しご利用いただける『町のお医者さん』的な役割を念頭に活動しています。



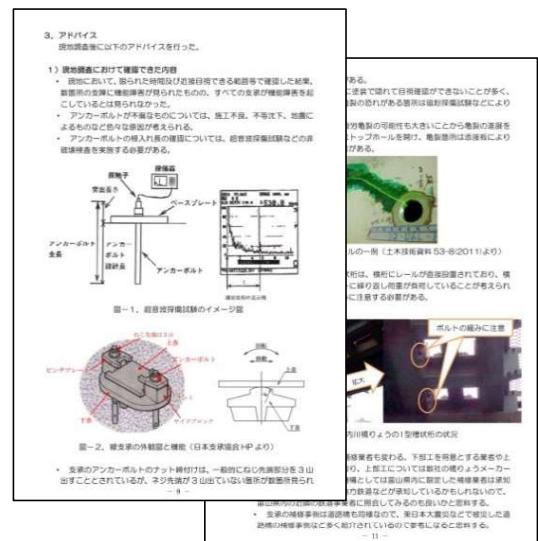
鉄道施設に関する技術支援

- ・鉄道・運輸機構の総合的な技術力を活用し、鉄道施設の補修や維持管理などに関する様々な相談に対してアドバイスを行っています。

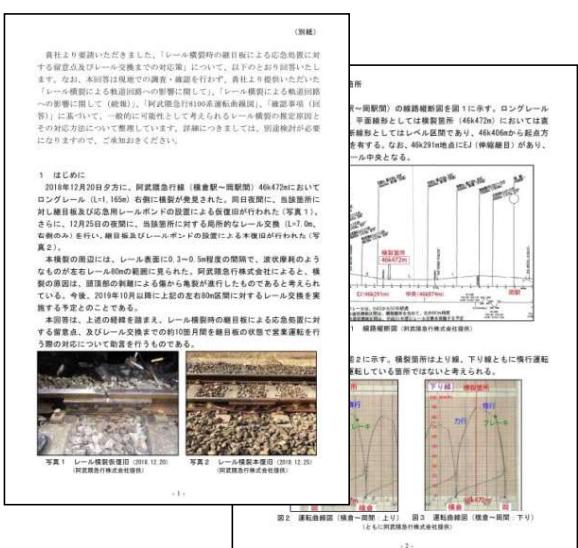
〔事例1〕覆工の漏水対策についての工法の紹介



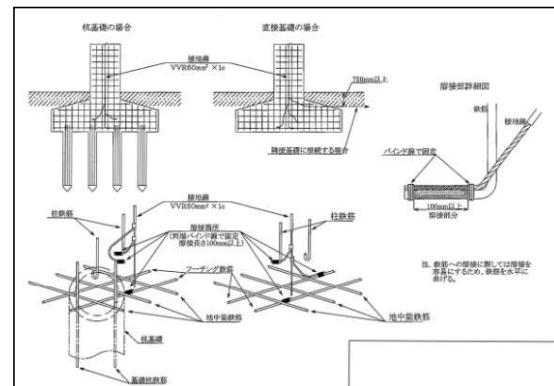
〔事例2〕鋼製桁やRC高架橋の補修方法の紹介



〔事例3〕レール横裂への対処方法の紹介



[事例4] 架線柱に対する接地線の取付方法の紹介



助成・補助金関係の支援

- ・鉄道助成部と連携を図り、助成制度の補助メニューなどに関する助言のほか、国の補助メニューの紹介などを行っています。

4 助成計画書 (ミュニティ・レポート)

<鉄道改修等近代化事業費概要>

(1) 制度の概要

鉄道の利用利便性が大きい地方活性化やその認定の地図等について、地域公共交通活性化。生産に寄与する地団体の交換活動の実施等を利用して、鉄道改修の利便性や機能の強化による経済の活性化向上のための助成を実施する事業にし、その費用の一部を助成する。

(2) 制度の内容

①補助対象

利便性に基づく鉄道利用者の利便性向上に関するための施設の整備に寄与する上級者

当該 施設の整備等

②補助率

補助事業費の1/3以内(地方公共団体から受けた高額及び複数、扶助の合計額以内)

③補助の仕組

```

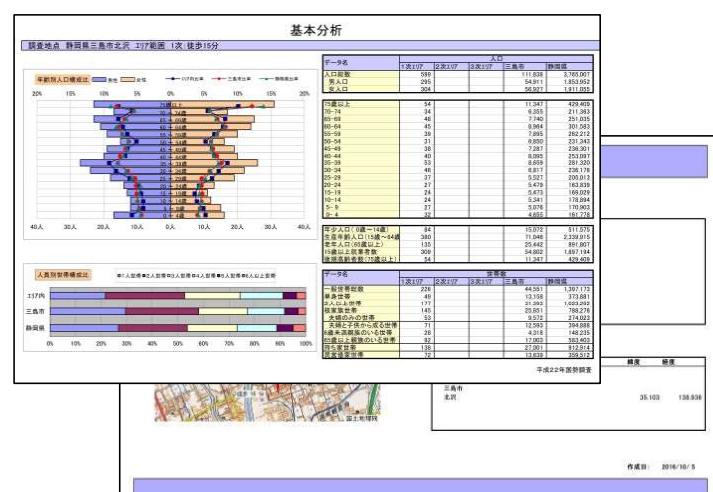
    graph TD
        A[国（機関経由）] --> B[地方公共団体]
        A --> C[補助合意]
        B --> D[補助合意]
        C --> E[補助合意]
        D --> F[補助合意]
        E --> G[補助合意]
        F --> H[補助合意]
        G --> I[補助合意]
        H --> J[補助合意]
        I --> K[補助合意]
        J --> L[補助合意]
        K --> M[補助合意]
        L --> N[補助合意]
        M --> O[補助合意]
        N --> P[補助合意]
        O --> Q[補助合意]
        P --> R[補助合意]
        Q --> S[補助合意]
        R --> T[補助合意]
        S --> U[補助合意]
        T --> V[補助合意]
        U --> W[補助合意]
        V --> X[補助合意]
        W --> Y[補助合意]
        X --> Z[補助合意]
    
```

補助された施設のバリアで、既存施設の改修によって利便性が向上してあるかを検討する。

④予算額の概算 (単位：百万円)

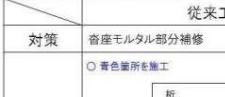
年 1 年 2 年 3 年 4 年 5 年	370 361 665 221 811
-----------------------	---------------------

⑤問い合わせ先
鉄道改修等近代化事業費二課（担当：幹部・幹部鉄道科） TEL 043-222-9126 FAX 043-222-9149



鉄道構造物の長寿命化対策

- ・地域鉄道における構造物の経過年数をみると、全体の約3割のトンネルが耐用年数60年を、8割弱の橋りょうが耐用年数40年を超えると言われています。このような状況から、例えば、RC構造物の断面修復、橋りょう支承部の修復、防食対策等の長寿命化対策工法を紹介しています。

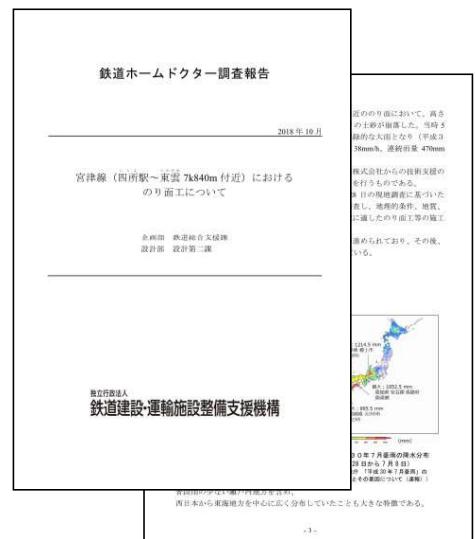
防食塗装の下		■ 防食対策	
		■ 支承部の修復	
対策	従来工法	対策	従来工法
概要図	<p>※2 フタル酸樹脂系塗料(第2層)上 錆止め塗料(第1層)</p> <p>※1 A系(JISさび止め塗料)-防食性(劣化) ※2 A系(フタル酸樹脂系塗料)-耐久性</p> <p>上部工本体</p>  <p>支承の機能障害</p> 	<p>概要図</p>  <p>○ 青色塗装を施工</p> <p>橋脚・機会</p>	<p>従来工法</p> <p>音座モルタル部分補修</p> <p>○ 青色塗装を施工</p> <p>橋脚・機会</p>
工法概要	<p>音座モルタルの劣化箇所を除て補修する。</p> <p>腐食箇所を素地調整(2種ケレン等)し、下を処理した後、フタル酸樹脂系塗料を上(計2回塗り)</p>	工法概要	<p>音座モルタルの劣化箇所を除て補修する。</p>
長所	施工性が比較的よく、かつニシヤルコスト	長所	施工手間がかからず、かつニシヤルコスト
短所	経年劣化が早い。	短所	劣化箇所の部分的な補修となる恐れがある。さらには、アンカーリング解消することができない。
■ RC構造物の断面修復			
	従来工法	従来工法	長寿命化対策工法
対策	断面修復工(ポリマーセメント)	断面修復工(複数微細ひび割れ型繊維補強セメント) シラン系表面含浸工	断面修復工(複数微細ひび割れ型繊維補強セメント) シラン系表面含浸工
概要図	<p>○ 青色塗装を施工</p> <p>クラックは注入材で補修</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p> <p>橋台、橋脚</p>	<p>○ 青色塗装を施工</p> <p>クラックは注入材で補修</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p> <p>橋台、橋脚</p>	<p>○ 青色塗装を施工</p> <p>シラン系表面含浸材で 防水保護層を形成</p> <p>複数微細ひび割れ型 繊維補強セメントモルタル</p> <p>橋台、橋脚</p>
工法概要	<p>劣化箇所を研ぎ、ポリマーセメントモルタルで補修する。 クラックは注入材で部分的に補修する。なお、鉄筋露出箇所には防錆処理を施す。</p>	<p>劣化箇所を研ぎ、複数微細ひび割れ型繊維補強セメントモルタルで補修した後、シラン系表面含浸材でモルタルで保護する。なお、鉄筋露出箇所には防水処理を施す。</p>	<p>モルタル材は、ひずみ硬化特性、及び複数ひび割れ特性を有するため、凍結融解耐性や耐久性への耐久性が上がる。また、防水保護層が形成されているため、長期的な耐久性の向上が期待できる。</p>
長所	施工手間がかからず、かつニシヤルコスト	施工手間がかからず、かつニシヤルコスト	從来工法に比べて手間がかかり、かつニシヤルコストが高くなる。
短所	一時的な補修となることから経年劣化が早い。		從来工法に比べて手間がかかる、かつニシヤルコストが高くなる。

災害復旧に係る技術支援

- ・近年、国内では地震・津波等の災害が発生しています。また暴風雨や集中豪雨による河川の氾濫などの風水害および土砂災害が多発しています。このような状況に対応すべく、鉄道ホームドクターでは復旧対策の技術支援を行っています。実績として、豪雨によるのり面の崩落災害復旧に際し現地調査を実施し、現地の状況に即した地盤調査やのり面工の施工方法及び留意点について助言しています。



現地調査及び事業者様との打合せ状況



調查報告書



独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

www.jrtt.go.jp

まずはお気軽に下記問合せ先にご連絡ください。

問合せ先		TEL	FAX
総合窓口	鉄道企画調査部 鉄道総合支援課	045-222-9059	045-222-9094
(補助金関係)	鉄道助成部 助成課	045-222-9134	045-222-9149
北海道	北海道新幹線建設局 計画部計画課	011-231-3458	011-218-2406
東北地方・関東地方 (新潟・長野・静岡県を含む)	東京支社 計画部調査第一課	03-5403-8738	03-5403-8771
東海・北陸・近畿・中国・四国地方	北陸新幹線建設局 計画部計画課	06-6394-6031	06-6394-6038
九州地方	九州新幹線建設局 計画部計画課	092-283-9609	092-283-9592

MAIL : shien-53je@jrtt.go.jp

↑まずはお気軽にメールでご一報ください！！

【参考】

地域鉄道活性化への取組み事例及び地域公共交通支援事業の紹介

国土交通省がHPの中で提供している地域鉄道活性化等に関する取り組み事例及び地域公共交通の支援事業に関する情報を紹介します。

1. 総合政策局

- 「地域公共交通の活性化・再生への事例集」

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/htm/all.html>

- 「地域公共交通確保維持改善事業について」

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html

2. 鉄道局

- 地域鉄道対策

「地域鉄道活性化に向けた取組み事例紹介」

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk5_000002.html